

発行

大島郡医師会

奄美市名瀬塩浜町3-10

TEL0997-52-0598

FAX0997-54-0597

印刷 南海日日新聞社

大島郡医師会だより

No.92 2022.1.1

院丘所
病院
会の訪問看護
医師
事務
訪問介護
事業
居宅介護
支援事業所
グループホーム虹の丘
養護老人ホームなぎさ園
臨床検査センター



令和4年、新年の辞

大島郡医師会 会長 向井 奉文

明けましておめでとうござ

今、おそらくみなさんと同様に若干晴れやかな気分で文

章を認めていました。と言うの

も、現在全国から新型コロナ

が明らかに消滅しつつあるか

らです。

昨年、我々はコロナワクチ

ン接種にそれこそ心血を注い

できました。各会員の並々な

らぬ協力のお陰で無事終了す

る事が出来ました。ワクチン

接種を振り返って観ましょう。

ワクチン接種の方法として

はセンター方式を採用、その事により一滴のワクチンも無駄にしませんでした。又万全の副反応対策を講じはしましたが幸い大きな事故はありませんでした。ワクチン2回目接種を終えた人の割合は80%を優に超え、県はもちろん全国に比しても優秀な成績がありました。

特筆すべきはその効果です。

新型コロナ第5波の分析でそ

の事は明白です。昨年12月10日、「名瀬保健所管内での感染拡大の振り返り」と題した報告会がありました。その中でワクチン2回接種済と2回未接種者の重症度の分析が為されていました。その結果、重傷者は2回接種済では一人も報告されず、2回未接種者は3人、中等症は2回接種済が5人、2回未接種者が20人と大差がありました。

無症状、中等症では2回接種済が400人、2回未接種者が20人の結果でした。確実に言えることは、ワクチン接種は重症化を優れて防止したと言えます。会員の皆様の労苦が報われたべきであります。改めて御

礼を申し上げます。

3回目の接種が今年早々に視野に入っています。3回目接種の意義は「全ての年齢群において2回ワクチン接種後

6ヶ月を経過すると発症予防・重症化予防のワクチン効果が低下する」とのイスラエルからの報告あり、3回目接種で

入院予防効果93%、重症化予

防効果92%、関連死予防効果83%との研究結果にあります。

3回目接種への会員の皆様の

ご協力をお願い申し上げます。

新型コロナの第5波では宿

泊療養施設の運営に多くの会

員に協力を頂き大変感謝して

います。お陰で入所者の安心

安全の確保が出来たとおもい

ます。又、第5波では病院や障

碍者入所施設でのクラスターも発生しました。人知れずそ

のクラスターと向き合い、現場のスタッフの大きな頼りとなつた会員もいます。感謝に堪えません。

ところで、心無い、中止の大合唱のなかオリンピック、パラリンピックは開催されました。開催されてみると無観客になりました。迫力は全世界の人々を“感動”に巻き込んだことは周知のとおりです。しかも、オリンピッ

ク、パラリンピックを契機に新型コロナは急減し始めたのです。オリエンピックを契機とする急減は医学的根拠がないわけではありませんが、正に“奇跡”と言い換えてよい事象です。“東京オリンピック”は歴史に必ず残る奇跡の大会となつたというべきでしよう。

コロナ禍は約2年続いています。コロナ禍は多くの分野に相当の“傷”を負わせつつあります。コロナ禍は多くの分野にあります。医療界も例外ではありません。オミクロン株の蔓延に備えつつ“負の遺産”を回復すべく微力を尽くしたいと思います。

奇しくも今年は「寅年」です。「寅年」の本来の意味は「春の草木が生じる」であります。「寅年」の意に沿つて、オリエンピック選手が示唆した“勇気”を少しでも持つて医師会の存在意義を昂めたいとも思います。今年もご指導ご鞭撻をよろしくお願い申しあげます。



さて国が示した今回
の改定の最大のポイントは、科学的介護情報システム（LIFE）による改定である。科的介護情報システム（Evidence-based care information system）への対応である。このLIFEは前回改定で、通常ハビリ等でリハビリのデータを厚労省に提出するシステム、いわゆるVISITが創設され、また令和2年度に介護保険施設等の入所者のADL等のデータを収集したモデル事業、いわゆるCHASEの検討が行われ、最終的に両者が統一され、ついられた名称であり、老健施設関連の多くの加算要件等にも紐づけされている。



奄美群島における心肺蘇生を望まない傷病者への対応

県立大島病院 救命救急センター長 高間 辰雄

A photograph of a woman with short brown hair, wearing a green bandana over her mouth and nose, and an orange jacket. She is smiling and holding a large fish in front of her. The background shows a clear blue sky and some hills or mountains.

生を終えるのが活発化して終段階において停止になつた生の実施を望で看取つてもう意思表示をしています。慣れない病院に心肺蘇生をされながら搬送され、無機質な天井の下で生を終えたくはない、住み慣れた自宅や老人ホーム、先祖代々の土地でおだやかに最期を迎えたいという感情は誰しもが一度は抱くものであ

り、このような方が増えることは当然とも言えます。特に先祖を大切にし、本土とは異なる伝統や生死觀を持つ奄美群島の皆さんにおいては、こういった想いがより強くあるかもしれません。

昔は自宅での死がより身近にあつたかと思います。しかしながら、医療が高度化するにつれ、病院での死亡が主となり、鹿児島県では74%の方が病院で亡くなっています。昔よりも死が身近にならない現代社会では、中々本人が思う様な在宅での最期を迎えることはできません。特に傷病者が「自宅でのお看取り」という意思を固めていても、慌てたご家族等から救急要請があつた場合、救急隊は救命を第一に考え、心肺蘇生を実施しながら医療機関に搬送せざるを得ず、傷病者の意思に沿うことができず、非常に苦しむ思いをすることがありまし

超高齢多死社会の中で増加することは決して望ましいことではありません。

以前より、広島市消防局や埼玉西部消防局では、「本人の心肺蘇生を望まない意思」が確認できた場合は、蘇生行為を中止する、といった取り組みを行つてきましたが、2019年12月16日より日本最大の消防組織である東京消防庁も、

(1) 以前から本人が心肺蘇生を望まないという意思表示をして、それを医師などと共有している(アドバンス・ケア・プランニング)「人生会議」を行つてている

(2) 電話連絡により、救急隊がかかりつけ医から本人の意思などを確認することができ、医師から「中止」の指示を受ける

という条件のもとに、心肺蘇生を中止し、在宅での看取りに切り替えるという方針とな

コルを参考に、「奄美群島における心肺蘇生を望まない傷病者への対応」のプロトコル作成が始まりました。現在まで、5回のWeb会議を開催し、多くの医療関係者、消防関係者、介護施設の方々にご参加頂き活発な議論を重ねております。まだまだ解決すべき問題は山積しておりますが、「顔と顔の見えるコミュニケーション」がある」「在宅医と救急医の距離が近い」という奄美群島の大きな利点は存分に活かせており、と感じております。作業部会長として大きな手応えを感じております。



明けましておめでとうござ
います。令和3年度第2回理
事会が、去る10月23日(土)午
後6時半から医師会館4階に
て開催され、稻副会長の開会
宣言に続き向井会長が以下の
ように挨拶されました。

【皆さん本日はお忙しい中ご
出席くださいましてありがと
うございます。

今年は年初から全国に調子
を合わせるよう『コロナとの
闘い』そういう一年だったの
ではないかと思います。今は
コロナが減少しつつあります
が、それも療養施設のレクス
トンホテル、あるいは4月か
ら始まつた予防接種での会員
の皆さん方の多大な力のお陰

特にワクチンにおいては、県下はもとより全国でもトップクラスの接種率だと思います。それと廃棄については、龍郷町でのトラブルがありましたけれども、それを除いて日々の『ケアレスミス』そういったミスは殆どなく優秀な成績を収められたと思います。それも皆さん方の協力のお陰だと非常に感謝しております。

今は第6波ということで決して油断はできない状況だと思われます。世界的に見ますと例えば日本でコロナが急減しておりますけれども、インフルエンザでも日本以上に急減しています。ワクチンとか人の流れを止めるとかそういう形ではなかなか説明できないウイルス独自の急減する条件があるのではないか。イギリスでは減少した後、再び罹患者が増加している。そういう風に増加する条件、急減する条件が、我々がうかがない知らない何かしらがあるのではないか。これはワクチンでもなかなか説明が難しいことだと思います。

そういうことがあるとは言え、第6波が来るものだと思って発熱外来など引き続き協力していくことが大事ではないかと思います。厚くお礼申し上げます。

す。」
その後、会長を議長として議案審議に入る。

協議事項

(1)・第1号議案 最低賃金引き上げに伴う俸給表の見直しに関する件

報告事項

(1) 各業務担当理事からの報告について・令和3年4月から10月理事会開催までの事業報告津畠庶務担当理事)・新規開業診療所の個別指導立ち合い報告(碩医療保険担当理事)

・軽症者宿泊療養施設及び感染者状況報告(野崎救急医療担当理事)・新型コロナワクチン接種(3回目)等状況報告(岩城予防接種担当理事)・沖永良部島のワクチン接種等含む状況報告(町田理事)

(2) 医師会病院電子カルテの更新の状況報告について・これまでの検討状況及び今後の予定報告(坂元大島郡医師会病院事務長)

協議事項1号議案の結果については、見直し案を全員一致で承認されましたが、来年度以降も最低賃金が上がる可能性もあることから、評価制を導入することが必要ではないかなどの意見がありました。

第2回理事会

医師会内部でもいろいろな問題があります。今日は議題には挙がつて

公益社団法人 大島郡医師会

「第44回 地域包括ケア交流会」が開催されました!

テーマ：「リハビリテーションとACP(アドバンス・ケア・プランニング)」

定期的に開催（原則：偶数月の第4月曜日）している地域包括ケア交流会が10月25日（月）に大島郡医師会館4階ホールにて行われました（名瀬保健所管内市町村委託事業「在宅医療・介護連携推進事業」の一環として開催）。

昨年の下半期からの交流会では、在宅医療の4つの場面（「日常の療養支援」「入退院支援」「急変時の対応」「看取り」）におけるACP（アドバンス・ケア・プランニング）をテーマに、在宅での看取りの事例や救命救急センター・大島地区消防組合からの現状報告、言語聴覚士の「食べること」について、そしてケアマネジャーの立場からのACPと、多方面の方々に講師になっていただき、その後の意見交換で多職種の相互理解を深めてきました。

はじめに、今回のテーマ「リハビリテーションとACP（アドバンス・ケア・プランニング）」についてリハビリテーション科専門医の稻先生が講話をされました。リハビリテーションの歴史やその言葉の意味、「メント・モリ」という警句の紹介など、興味深いお話を織り交ぜながら「ACP」は単に事前指示書を作ることではなく繰り返し話し合いが行われることが重要で、それは患者さんが安心できる支援のプロセスでありケアであること、またリハビリテーションを含め常にその人の居場所が適切であるか考慮しているか、などの支援者側の基本的な姿勢（下記スライド参照）も含め、「ACP」が患者さん利用者さんを真ん中においた支援であるという基本的かつ重要な視点について、わかりやすく示唆していただきました。



稻源一郎
大島郡医師会
副会長

- 分け隔てなく 尊厳を持って接しているか
- 利用者の不利益になっていないか
- 常に適切な計画を考慮しているか
(医療、リハビリテーション、ケアなど)
- 常にその方の居場所が適切であるか考慮しているか



その後の意見交換では医師、看護師、保健師、ケアマネジャー、理学療法士、作業療法士、歯科衛生士、社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、行政の保健福祉課長さんなどなど

ど、職種も勤務先も異なる方々がそれぞれに感じたことや、自分の役割について自由に語り合いました。事前の申込みは不要ですのと、興味のある方は気軽にご参加ください。

【お問い合わせ先】大島郡医師会在宅医療連携支援センター ☎0997-55-6381

口腔ケア研修会

令和3年12月1日



虹の丘口腔栄養管理委員会主催の研修会が行われました。今回は医師会病院から水間先生をお招きし、施設における口腔ケアについて講演頂きました。口腔ケアの目的から口腔内細菌と全身疾患の関係性、実践場面でのコツや課題について先生の経験を交え有意義な時間となりました。口腔衛生管理に関しては今年度の改正により歯科医師又は歯科医師の指示を受けた歯科衛生士が、介護職員に対する口腔衛生に係る技術的助言及び指導を実施していくことが要件となり、更なる協力が必要な関係となりました。虹の丘においても口腔ケアの専門家である歯科医師、歯科衛生士の指導を仰ぎながら、入所者の口腔衛生管理に努めて行きたいと思います。



介護医療院は「医療の必要な要介護者の長期療養・生活施設」として、2018年4月に創設され、当大島郡医師会病院は2021年4月に旧4階東療養病棟を「大島郡医師会病院介護医療院」として開設しました。療養床数は18床で現在

満床の18人が入所しております。介護医療院は慢性期の医療・介護ニーズを併せ持つ高齢者の増加に対応するため、また医療処置などが必要で自宅や特別養護老人ホーム等での生活が困難な高齢者にも対応できる受け皿となることが期待されています。

当介護医療院

には、胃瘻や鼻腔から経管栄養を受けている方、気管切開を行っている方、日常的に痰吸引を必要としている方、認知症状のある方等、医療ニーズと介護を必要としている方が入所されています。

お部屋は「住まい」として和室や台所、ユニット型の風呂やトイレがある完全個室となっています。16床あります。その他2床は2人部屋はパーテーションで仕切られ準個室となっています。

また大きな役割の一つとして「地域に貢献し地域に開かれた交流施設」が掲げられており、開設当初は新型コロナ感染予防対策の真っ只中で、地域との交流が出来ない等の状況でしたが、周辺地域の公共交通へ、入所者やスタッフが作成した七夕飾りをプレゼント

機能として上記に示した日常的な医学管理のほかに、看取りやターミナルケアの機能と生活施設としての機能を兼ね備えた施設としての役割が大きくなります。

主導の先生を始め、療法士や管理栄養士、薬剤師、歯科衛生士等多職種がそれぞれの専門的な知識を持つ、一人ひとりに関わり、また定期的なカンファレンスを行う中で情報共有し、時には日常のケアへの指導をお互いに受けながら、より良いケアの提供ができるよう取り組んでいます。

アヘの指導をお互いに受けながら、より良いケアの提供ができるよう取り組んでいます。



介護医療院開設にあたつて

大島郡医師会病院
介護医療院 看護師長 伊集院珠美

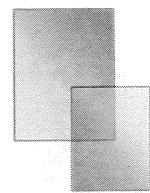
屋へと少しずつ変化しつつあります。介護医療院の理念である、「利用者の尊厳の保持」と「自立支援」を念頭に、看護・介護スタッフのみでなく、

主治医の先生を始め、療法士や管理栄養士、薬剤師、歯科衛生士等多職種がそれぞれの専門的な知識を持つ、一人ひとりに関わり、また定期的なカンファレンスを行う中で情報共有し、時には日常のケアへの指導をお互いに受けながら、より良いケアの提供ができるよう取り組んでいます。

アヘの指導をお互いに受けながら、より良いケアの提供ができるよう取り組んでいます。

アヘの指導をお互いに受けながら、より良いケアの提供ができるよう取り組んでいます。

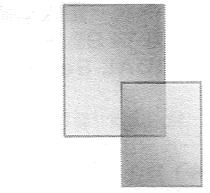
アヘの指導をお互いに受けながら、より良いケアの提供ができるよう取り組んでいます。



奄美の薬草

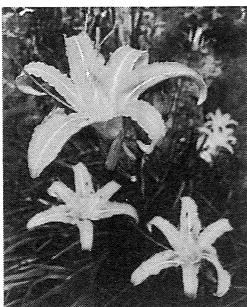


薬草研究



奄美の自然を考える会顧問 田畠 満大

<アキノワスレグサ（トキワカンゾウ）について>



ススキノキ科ワスレグサ属アキノワスレグサについて話してみます。9～10月頃によく見かける花です。以前はユリ科に属していましたが、研究が進み分類体系が変わっていました。

学名は、*Hemerocallis fulva* L. var. *pauciflora* です。奄美大島ではクウンソウ、沖永良部ではクウンゾーと呼ぶようですが、各集落ではどのような呼び方をしているのでしょうか？沖縄ではニーブイグサ（眠り草）と呼ばれているそうです。さて、いつものように文献類から紹介ていきましょう。

「沖縄の薬草百科」多和田真淳・太田文子共著より、【薬効】

①不眠症 ②興奮 ③いらいら ④補血剤 ⑤強壮薬 ⑥黄疸 ⑦乳傷 ⑧腫瘍などに対して、準備する物は、アキノワスレグサの葉---5 g ネズミモチ（果実）---3 g クコ（果実）---3 g カワラヨモギ（乾燥）---3 g 沸騰させた水---1 ℥ を準備し、使用方法1日分として、① ② ③ は共通で1日分として、準備した物を1 ℥ の沸騰させた水に入れて水が半分になるまで煎じ、1日3回服用します。

使用法Ⅱ、④に準備する物として、アキノワスレグサ---3 g セロリ---3 g 沸騰させた水1 ℥ に入れて半分になるまで煎じ、1日3回服用します。使用法Ⅲ、⑤1日分として、沸騰した水が半分になるまで煎じ、1日3回服用します。使用法Ⅳ、⑥1日分として、アキノワスレグサの根を適量と母鶏を煮て食します。使用法V、⑦ ⑧共通で、アキノワスレグサの根を適量つき砕いて患部に湿布します。

最近の進んだ研究がないかネットで調べてみました。以前から琉球大学の上江州榮子先生がアキノワスレグサの研究をしておられた事は知っていましたが、手元に研究論文がなかったので、ネットで拝見することができました。以下、著者情報抄録から引用させてもらいます。沖縄において古くからクウンソウは、不眠症の効果があると伝承されている。文献を遡ってみると、沖縄の古い食療書・御膳本草（渡嘉敷親雲上通寛1832）に、「くわんさう」は「わか葉及び花は食用に供せられる。苗花は・・黄疸を除け、久しく食へば身を軽くして目明らかなるなり」とある。この著書にはまだ「不眠症」という表現は出てこない。浦添為宗によって編集・発行された「家庭医書御膳本草綱要 1931」には不眠症を治すと記載されています。さらに1951年以降に発行された沖縄の薬草関係の図書には、不眠症を治す効用を示す植物として、ノカンゾー、ヤブカンゾー、ベニカンゾー、ホンカンゾーなどと表現されている。従ってこの段階では、「くわんさう」が現代のアキノワスレグサを示しているのか明確ではない。不眠症には「アキノワスレグサの葉を、ネズミモチ、クコ、カワラヨモギとともに煎じて服用する（多和田真淳・太田文子 1985）などと記載されている。

この多和田・太田の著書になって、アキノワスレグサとの表現が認められる。この文献に基づいて、アキノワスレグサと判断される植物について、マウスを用いた動物実験においても、アキノワスレグサについても科学的研究が進み、正しい根拠のある情報を待ち活用ていきたいと思います。

令和3年9月、4人の虹の丘職員が「リスクマネジャー認定試験」に合格しました！

リスクとは「危険」、「危険度」、「予想したとおりにうまくいかない可能性」、「失敗したり損をしたりする危険」であり、一般的には『リスク』は「危険」を表す言葉と定義されます。発生し得るリスクを予想し、それに備え不安を和らげる必要があり、これらのリスクに対処することをリスクマネジメント（リスク管理）といいます。リスクマネジメントとは、リスクを組織的に管理し、損失などの回避または低減を図るプロセスを指します。

今年度の改正により、介護老人保健施設におけるリスクマネジメントの強化が図られ、運営基準における、事故発生又は再発を防止するために講じなければならない措置として、指針の整備、事故報告の分析改善策の周知徹底、定期的な研修等の実施に加え、これらを適切に実施するための担当者の設置が義務化されました（6ヶ月間の経過措置）。



★リスクマネジャー資格取得の流れ

- ①上記の時間のカリキュラムを受講
- ②インターネット模擬試験（e-ラーニング）
- ③認定資格試験
- ④合格、資格取得
- ⑤資格の更新（5年ごと）

老健施設は多職種協働の施設です。それぞれの職種に、幅広い視野でリスクをとらえ、あらゆるリスクに対応できる担当者をそれぞれの部門に配置し、リスク意識啓発を図れば、老健施設におけるケアの質が更に向かることと考えます。

なぎさ園だより

運動会

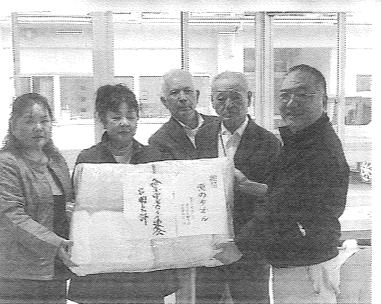
令和3年10月24日

10月24日、運動会を開催しました。当園恒例の聖火リレーで幕を開け、競技が始まると普段からは想像できない程の集中力で真剣に取り組んでおりました。応援にも声が出ていて、マイク実況が聞こえない場面がありました。笑いにあふれた楽しい運動会が行えました。



奄美市老人クラブ連合会よりタオル寄贈

令和3年12月6日



12月6日、老人クラブ名瀬支部よりタオル200枚の寄贈がありました。毎年寄贈していただいており、タオルの消費が多い当施設としてはとても助かっています。コロナ前はタオル寄贈の際に慰問をしていましたが、現在はそれもかなわず残念がっておられました。来年こそはタオルと共に笑顔もいただけることを祈っています。

2022年1月1日

学術講演会・研修会

- ◆1月14日(金)19:00~20:00 ※オンライン開催
【DUAL Seminar in 奄美】(大日本住友製薬との共催)
座長:むかいクリニック院長 向井 奉文
特別講演「新しい糖尿病薬イメグリミンに期待すること~糖尿病臨床とミトコンドリア~」
演者:いづろ今村病院名誉院長兼慈愛会糖尿病センター長 鎌田 哲郎
- ◆1月18日(火)18:30~20:30 大島郡医師会館4Fホールほか
【第2回医師の働き方改革に関するセミナー】(会場受講または自施設でのZoom受講)
- ◆1月19日(水)19:00~21:00 大島郡医師会館4Fホールほか
【鹿児島県医師会在宅医療・介護連携推進講演会】(会場聴講または自施設でのZoom聴講)
- 1.事例報告「在宅医療推進役として、地域医師会が果たす役目
~ACPに関する高齢者いきいきサロンにおける住民啓発~」
講師:肝臓部医師会立病院地域連携室 坂上 陽一
- 2.特別講演「ACP困難要因克服へのStrategies~自己決定支援の構造~」
講師:鹿児島大学大学院医歯学総合研究科腫瘍学講座消化器・乳腺甲状腺外科 的場 康徳
- ◆1月26日(水)19:00~20:30
【令和3年度障害支援区分認定主治医研修会】(自施設・個人でのZoom聴講のみ)
- ◆1月28日(金)19:00~20:00 ※オンライン開催
【大島郡医師会学術講演会】(バイエル製薬との共催)
座長:県立大島病院循環器内科部長 今村 春一
特別講演「脚を見て診る~エコーを活かしたVTE診療の実際~」
演者:九州中央病院循環器内科部長/九州大学医学部臨床教授 小田代 敬太
- ◆2月7日(月)19:00~20:00 ※オンライン開催
【循環器疾患Webセミナー in 奄美(仮)】(第一三共との共催)
総合座長:大島郡医師会病院院長 真田 純一
一般講演「奄美医療圏における急性冠症候群診療の現状について(仮)」
演者:県立大島病院循環器内科医長 宮内 栄治
- 特別講演「冠動脈疾患に対する抗血栓療法のニューノーマル~2020 JCS GLを読み解く~(仮)」
演者:福岡山王病院院长・循環器センター長/国際医療福祉大学教授 横井 宏佳
- ◆2月9日(水)18:50~20:00 ※オンライン開催
【大島郡医師会学術講演会】(興和との共催)
座長:むかいクリニック院長 向井 奉文
特別講演「循環器疾患関連テーマ(仮)」演者:県立大島病院循環器内科医長 宮内 栄治
- ◆2月16日(水)18:30~20:00 大島郡医師会館4Fホールほか
【令和3年度医療安全対策研修会】(会場受講または自施設でのZoom受講)
- ◆3月3日(木)19:00~20:10 ※オンライン開催
【脳卒中連携Webセミナー in 奄美(仮)】(第一三共との共催)
オープニングリマークス:大島郡医師会病院脳神経外科 西 憲幸
座長:県立大島病院脳神経外科部長 粟 隆志
特別講演「脳塞栓症における血管内血栓回収療法と抗凝固療法(仮)」
演者:鹿児島市立病院脳神経外科科長 西牟田 洋介

奄美の医療雑話

<54>

病気と人間の心

元名瀬市立奄美博物館長 林 蘇喜男

病気について考えてみたい。病気は、心の持ち方によつて軽くなったり、重くなったりすると言います。それを表現したのが、「病は気から」という言葉です。「病は万病のもと」と言われてい

るよう、「風邪」はあらゆる病気・多くの病気の原因だと言われております。風邪にかかると早く治療するのがいい、と江戸時代に万病に効果があるという「万病丸」の丸薬があります。

座長:「病は口より入り、禍は口より出する」という名文句は忘れてはなりません。病の原因は、飲食の

取り過ぎが原因です。「言葉は使い方を誤ると、親密な人間関係を失う場合もあります。」

「病は口より入り、禍は口より出する」とも言います。進行することから、「病を押して物事を行う」、あるいは「無理押しを

席せざるを得ない場合等もあります。いろいろな事柄を強引に押し進めることから、「病を押して物事を行う」とあります。

「病は口より入り、禍は口より出する」という名文句は忘れては

なりません。病の原因は、飲食の

取り過ぎが原因です。「言葉は

使い方を誤ると、親密な人間関係を失う場合もあります。」

「病は口より入り、禍は口より出する」とも言います。進行することから、「病を押して物事を行う」、あるいは「無理押しを

席せざるを得ない場合等もあ

ります。だから、少々の無理をしてでも、と考える人が多い

こともあります。ですから、少々の無

理をしてでも、と考える人が多い

ことがあります。だから、少々の無

理をしてでも、と考える人が多い